

平成 25 年 12 月 27 日

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原 1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 025-794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

面白い資料が出来ました。
お送りいたしますのでご確認ください。

ところで、既にお送りしています、
『品目別卸売数量・価額・価格の推移』

- 1) 農水バージョン (1991～2008)
- 2) 一般社団法人 市場協会バージョン (1985～2012)
- 3) 27～38 協力市場様バージョン (2002～2012)

は、私たちが就職して勤めている？(株)花卉産業??という会社の業績推移と言えるでしょう！
そして、『百合部門』の動きという考え方、『他部門』との業績比較もできるでしょう。

我が百合業界においては、はっきりと数字を持って経過年の動きが示せる資料としては、(昔の統計は、他にもありますが…) 最長期間の資料となっているはずです。

1985～1990 年のバブル経済前の期間、90 年代初頭に行われた大阪花博から我が花卉産業最盛期である 1991～1998 年、転換期を迎えた 1999～2008 年、そして農水が統計を取ることを辞めたリーマンショック以降まで…。

特に種苗業者・農協・市場の皆様には、分析を深めて頂きたく願っております。
ぜひぜひ、日本の百合切花農家の為に！

さて、今回の資料は…、
Y 社の…どこの会社かは秘密…冗談です…『輸入百合球根の販売価格の推移 1993～2013』という資料です。

ワング産百合球根で、隔離栽培の一部品種が免責されて自由化されたのは 1989 年。

当時 Y 社は OA 化に向けての準備を始めていましたが、まだまだアップの的な使い方をしていた時代でした。

93 年から本格的なデータ管理ができる体制が整ってきました。当時、まだ役員も若かったのですが、『将来、過去の記録を引き出して対比ができるシステムを作らなければ…。』との思いで、思い切ってシステム変更しました。記録の蓄積が開始され、これをベースに、2000 年代前半からこの資料の作成を開始しました。

そろそろ皆様にも、分析して頂けるだけの期間が経過したものと判断し、「資料」として配布する事といたしました。

この期間、Y 社の日本における百合球根マーケット占有率は、その営業方針通り、『一生懸命頑張っって』、『身の丈に合わせて (若干無理はしていますが…)』、『もちろんお客様にその評価を委ねて』、26～30% の範囲で推移してきています。(平均は、28.5% くらい。減ったり増えたり…結局お客様が儲かるかどうか全てですから！！)

『世の中の平均的傾向』を指し示すに値する資料と言えるかどうかはわかりませんが、いつもバタバタしている会社の割には、「まあ、安定した仕事をしてきていたのかなあ～」と感じています。

12 月 27 日付にて、弊社ホームページに『系統別花色割合の円グラフ』を載せてあります。
関東/関西/大手切花市場の配色割合とほぼ同様の様です。

2013/2014 は、「花卉流通の流れの中では」、やや大きめの転換期になるなあ〜と感じています。
表の見方や、読み取れる情報は、人毎に様々だと思います。
もし興味があったら、私の意見も聞いてください。いつでも出かけていきます。

不明な点等あれば、お問い合わせください。
よろしくお願ひ致します。

以上 森山 隆



<http://www.lily-promotion.jp/>
私共はLPJの趣旨に賛同し
協力・応援しています